

上越教育大学 センター組織の改組について

上越教育大学情報メディア教育支援センター長 南部 昌敏

本学では、大学運営及び教育・研究・業務に関する情報化の更なる推進と充実を図ることを目的として、旧情報基盤センターと旧学校教育総合研究センターの情報教育研究分野及び学習環境開発研究分野における組織・機能の再編・統合を行い、平成20年4月から、名称を「情報メディア教育支援センター」と改め、新体制で業務を開始したところである。

1. 設置の趣旨（目的）及び組織

情報メディア教育支援センターは、本学の情報処理システム及び学内ネットワークを整備するとともに情報セキュリティを確保し、その円滑な管理・運用を図り、教育・研究、管理・運營業務等に資するほか、大学運営に係る情報化を総合的に推進することを目的として設置されており、センター長、センター兼務教員（4名）、その他必要な職員で構成されている。

2. センターの機能（主な業務内容）

- ①本学のセンターシステムその他情報処理基盤の整備及び管理・運用に関すること
- ②情報セキュリティの確保に関すること
- ③全学における学術研究、情報処理教育及び事務処理のための利用に関すること
- ④学術情報の利用及び提供に関すること
- ⑤国立情報学研究所とのネットワーク及び事務連絡に関すること
- ⑥情報教育の推進に係る研究開発に関すること
- ⑦その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること

3. 施設・設備の現状

情報メディア教育支援センターでは上記の目的を達成するため、「①インターネット接続した学内LAN」、「②研究・教育を支援する各種処理室」を有しており、導入システムは主にレンタル物品で構成することで、数年ごとに更新を図り、常に新しい設備・技術によって教育・研究を支援することを目指している。

①インターネット接続した学内LAN

学内LANは、J U E N (Joetsu University of Educational Network) と呼ばれ、二重化した Giga-bit Ethernet による高速かつ信頼性の高い複合型ネットワークで構築されている。また、各研究室、実験室、教室、食堂などにネットワークコンセントと無線LANアクセスポイントが設置され、常にインターネット接続が可能な環境が整っている。さらに、VPN (Virtual Private Network : 私設仮想回線) 接続による自宅からの学内LANへの接続も可能になっている。

②研究・教育を支援する各種処理室

各種処理室としては、「教育情報訓練室」「マルチメディア処理室」「応用処理室」「情報演習自習室」が用意されている。

「教育情報訓練室」は、WindowsXP 搭載のノート型PCを30台備えた教育情報訓練室1と、学生が自己の所有するPCを持ち込んで、学内LAN接続を可能とする環境を整えた教育情報訓練室2の2部屋がある。

「マルチメディア処理室」では、e-Learning 用コンテンツ作成、各種ビデオ編集が可能である。「応用処理室」では、科学技術計算ソフト (mathematica)、プログラミングソフト (Visual Studio)、統計処理ソフト (SAS) 等を活用することが可能である。「情報演習自習室」では、MacOSX 搭載のノート型PC20台

を備えており，A0版プリンタ，カラーレーザープリンタでの出力ができる。

③その他のサービス

情報メディア教育支援センターでは，e-mail，インターネット，講義支援や業務支援などのサービスが提供できるシステムを導入し，さらに全学生及び教職員に e-mail アドレスを配付しており，教育・研究や各種連絡などに活用されている。